

公明ひらつか



地方創生の実現に向け、大胆な発想と公民連携を

秋澤 雅久 議員

平成28年度 予算編成方針

5年間続く地方交付税の交付団体から脱却し、自律的な自治体を目指すための取り組みと将来負担の軽減に向けた考えを伺う。

市長 自律的な自治体を目指して、収納率の向上や受益者負担の適正化などに加え、将来の税収につながるインフラ整備や企業支援、ネーミングライツなどにより自主財源を確保する。同時に、事業の見直しを行い、民間活力の導入や公共施設の更新、統廃合などにより、さまざまな施策の効率化を図っていく。また、将来負担の軽減については、今後の人口動向も踏まえながら、返済額のバランスを配慮して市債の借入れを行う。将来世代への過度な負担転嫁がないように、持続可能な行財政運営を進めていきたい。

社会へ向けた行財政改革へのキーワードは何か。

市長 民間活力の積極的活用による効率化と公共施設の総量縮減による持続的管理である。

厳しい財政状況の中で持続可能な行財政運営を行うには、市長のリーダーシップが重要であると思うが、市長の意欲を伺う。

市長 リーダーシップを発揮して、自主財源をしっかりと確保し、交付税に頼らずに市民サービスが提供できるような、行政運営を行っていききたい。また、2期目の所信表明で挙げたシティプロモーションについても、自ら先頭に立って、市全体で一生懸命動いていきたい。本市の福祉、子育て政策などは、他市に引けを取らないが、それらの良さが市外に伝わっていない。選ばれるまちになるために、いろいろな形で本市の魅力を発信し、売り出す取り組みを行っていく。

問 少子高齢化・人口減少

声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ 議会局 ☎21-8791

下水道管渠施設 維持管理の 包括的民間委託

施設の維持管理における、予防保全・事後保全についての考え方を伺う。

土木部長 故障や事故を未然に防止し、機能を継続的に発揮する予防保全型の維持管理が基本である。日常点検や定期点検を強化し、施設や設備の劣化などを的確に把握することで、効率的な維持管理を行う。

平塚市民病院の 課題解決について



平塚市の先見性を問う 鈴木 晴男 議員

市民病院あり方懇話会は、県が策定する医療構想のほか、市民病院の地域特性や経営状況を踏まえた次期将来構想を策定するために設置された。この懇話会に期待するものは何か。

市民病院事務局長 あり方懇話会には、平成28年度中に「新公立病院改革プラン」を策定するに当たり、学識経験者、医療・病院経営に識見のある方、地域住民の代表者などから、現在の経営状況の改善に向けた有効な考えを得ることを期待している。ここでの意見は今後の市民病院の方向性や在り方の参考にする。

がん検診の 受診率向上

未受診者に個別勧奨と再勧奨を行う「コール・リコール」を実施しないのか。

「複数年契約による安定的な業務の遂行」などは、維持管理に有効な対策と認識している。財政面の制約で、管理費の減少や技術職員不足が進み、課題となっている。現在、特定の業務を単年度契約で民間委託しているが、さまざまな業務を受注者の裁量により運営できる包括的民間委託の導入を検討していく。

や「複数年契約による安定的な業務の遂行」などは、維持管理に有効な対策と認識している。財政面の制約で、管理費の減少や技術職員不足が進み、課題となっている。現在、特定の業務を単年度契約で民間委託しているが、さまざまな業務を受注者の裁量により運営できる包括的民間委託の導入を検討していく。

交通安全施策の 実施状況

自転車乗車用ヘルメットの購入費の助成対象を中学生や高齢者にも拡大したい。

子育て世代から 選ばれるまちに



伊東 尚美 議員

安心の妊娠・出産へ

晩婚化・晩産化の傾向や核家族化などにより、これまで以上に妊娠から産後までの切れ目ない支援が必要と考える。本市の取り組みは十分行き届いているか。

健康・子ども部長 乳幼児健診や乳児家庭全戸訪問事業など、状況に応じた関係部署が連携して支援している。今後、産後の切れ目ない相談体制を整える必要がある。

子育て情報の充実を

スマートフォンで気軽に子育て情報を取得できる「子育て応援アプリ」を導入したらどうか。

交通政策担当部長 児童や幼児への普及状況に応じて、まちづくり財団と協議する。街中に自転車貸出拠点をいくつか設置し、利用者がどこでも貸出や返却ができる「コミュニティサイクル」を導入したらどうか。

相模小学校移転関連

20年、30年後のあるべき姿を考え、相模小学校を小中一貫教育のモデル校へと設計変更したらどうか。

学校教育部長 設置場所や敷地面積などの課題があるため、現時点で小中一貫教育校は想定していない。小中一貫教育については、今後の研究やモデル校の成果や課題を注視していきたい。

健康・子ども部長 現在、スマートフォン専用の市トップページには子育て情報が目立つよう表示してある。今後ともタイムリーで分かりやすい情報提供を心掛ける。

健康・子ども部長 選ばれるまちとなるよう、シティプロモーションを活用して、市内外に情報発信したい。

学力・学習状況調査

平成27年度全国学力・学習状況調査で、本市は全

行政視察の報告

議会では他自治体の先進事例を研究するため、行政視察を実施しています。9月定例会で承認を得た2つの委員会が閉会中に行政視察を行いました。

総務経済常任委員会

10月28日～29日の日程で、三重県四日市市、兵庫県尼崎市を視察しました。四日市市では企業誘致をテーマに、空洞化したコンビナートの再生を最優先課題として企業立地に導いた施策を視察しました。尼崎市では、シティプロモーションの取り組みについて、交流人口、活動人口、定住人口を増やすことを目的に進める、市の戦略的・効果的な魅力発信の試みを視察しました。

議会運営委員会

11月5日～6日の日程で、富山県富山市と石川県加賀市で議会改革の取り組みを視察しました。富山市では、議会改革検討調査会規程に基づく計画的な改革の検討、決算委員会の運営方法などを視察しました。加賀市では、議会の広報活動、小学生の議会傍聴、予算決算常任委員会の設置や議会が策定した政策条例の検証などを視察しました。

公明ひらつか 所属議員



小笠原 千恵美 議員



永田 美典 議員

教育指導担当部長 県内モデル校の成果や課題などを参考に、一貫教育の在り方の研究を進めていく。